

◎2024年 中村哲記念◎

アフガニスタンからの報告

～中村哲の希望を受け継いで



[日時] 2024年11月16日(土) 13:30～17:00 (開場12:30)

[会場] 西南学院大学チャペル (福岡市早良区西新6-2-92 大学構内の南西部) 900席

[主催] ペシャワール会 ※事前申込不要/入場無料/参加自由

プログラム

第一部 映像

中村哲講演アーカイブ映像 (2017年講演)

第二部 講演

「中村哲の希望を受け継いで ～PMS 現地事業の今」

講演 藤田千代子 (PMS 支援室長)

講演 大和則夫 (PMS 技術支援チーム)

第三部 講演+対談

「医師中村哲の活動の原点ハンセン病診療

～これからの活動に向けて」

講演 喜多悦子 (笹川保健財団会長)

聞き手 村上優 (ペシャワール会会長/ PMS 総院長)



※PMS=現地事業体Peace (Japan) Medical Services(平和医療団・日本)

【お問い合わせ】 ペシャワール会事務局

〒810-0003 福岡市中央区春吉1-16-8 VEGA天神南601号

電話:092-731-2372 FAX:092-731-2373

メール: peshawar@kkh.biglobe.ne.jp

ホームページ: <https://www.peshawar-pms.com>



中村哲医師（1946～2019）の活動を支えるためにペシャワール会は1983年9月に発足、翌1984年5月に現地での活動が始まり40年が経ちました。中村医師はハンセン病診療や難民診療に尽力し、2000年以降は、地球温暖化に伴う大干ばつに苦しむアフガニスタンの農村復興を目指して灌漑事業に取り組みました。

今年は以下のプログラムを通して、皆さまと共に中村医師が灯した希望を受け継いでいきます。

【一部】中村医師の講演映像を上映。在りし日の風貌と肉声に再会してください。

【二部】この5年間の事業を総括し、PMS現地事業の^{いま}現在をお伝えします。

【三部】1988年のペシャワールでの出会い以来親交のあった喜多悦子医師をお招きし、中村医師の活動の原点であったハンセン病診療について振り返るとともに、今後の展望を探ります。

どなた様でもご参加できます。どうぞお越しください。

登壇者プロフィール

村上 優

医師。1983年発足時の発起人の一人。1992年よりペシャワール会の事務局長、副会長を務め、2015年会長に就任。中村哲医師の後を継ぎ、2019年12月よりPMS総院長を兼任。

藤田千代子

1990年より看護師として現地赴任。以来、医療、井戸、用水路事業について中村医師の現地活動を支えてきた。現在、ペシャワール会PMS支援室 室長・理事およびPMS総院長補佐として、現地に度々滞在し活動。

大和則夫

元大手建設コンサルタント会社勤務。2020年PMS技術支援チーム結成時にペシャワール会に参加。以降、技術支援チームのまとめ役・理事として、灌漑水利事業の技術的な側面についてアドバイスを行なう。

喜多悦子

医師。1988年国際医療センター国際協力部からペシャワールのユニセフ・アフガンプログラム事務所の保険医療プロジェクト責任者として赴任。ペシャワールでの出会い以来、中村哲医師と親交を深める。2005年～13年、日本赤十字九州国際看護大学学長。現在、同学名誉学長。2013年よりハンセン病対策事業を中心に取り組む笹川記念保健協力財団理事長、2017年より同財団会長。発展途上国での医療活動に取り組む。



【お願い】

お問い合わせはペシャワール会事務局（092-731-2372）にお願いします。
※西南学院大学へのお問合せはご遠慮ください。

【会場アクセス】

◎地下鉄（空港線）：西新駅①番出口から徒歩7分

福岡空港～西新駅…約17分／博多駅～西新駅…約12分／天神～西新駅…約8分

◎バス：防塁前バス停から徒歩5分

博多駅～防塁前…約40分／天神～防塁前約20分

